

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

9月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

未来のナースヘールを

令和6年7月24日に熊本看護協会主催の「高校生の一日看護体験」を行い、3つの高校から13名が参加されました。緊張とワクワク感が伝わる面持ちで、集合時間の30分前には全員が集合されました。

会場に来てすぐにユニフォームに着替え、嬉しそうに着座されていました。各看護師長からの話も興味津々という表情で聞かれており、「看護職の中でも色々な専門の分野がある事を知り、専門の看護師になりたい」と希望に満ちた意見がありました。

体験コーナーでは、PPEの着用、車いすやストレッチャーの体験を行っていただきました。PPEの着用

出来たのではないかと思います。車いすやストレッチャー移動体験は、「こんなに怖いとは思わなかった」「動かす方向で怖さが変わるとは思わなかった」との感想がありました。



では、初めてのガウンや手袋、N95マスク、ゴーグルに戸惑いながらも一つ一つスタッフと一緒に着用し、「こんなに暑いと思わなかった」「テレビで見ていたよりもはるかに大変さがわかりました」と言った声が聞かれ、現場での大変さを肌で感じる事が

全ての体験終了後には、「色々な体験が出来て、看護師になりたいという気持ちがさらに強くなりました」「保健師を目指していたが看護師へも興味を持ちました」という声をいただきました。高校生のキラキラと輝いた表情で「私は、絶対看護師になります」との声を貰い、看護のやりがい改めて再確認し、日々の忙しい業務も頑張ろうと活力を貰いました。

これからも、たくさんの可能性がある高校生に、一日看護体験を通じて看護の素晴らしさ、やりがいを伝え、看護の世界へ興味を持ってもらい看護師の道へ進む手助けをしていきたいと思ひます。

(文責：3階病棟看護師 松本 綾)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

未来のナースヘールを ..... P 1

2024年度肝がん撲滅運動..... P 2

生命誕生～ひとりひとりが宝物Ⅱ～ ..... P 2

医療最前線 (159) ..... P 3

第80回公開講演会のご案内 ..... P 3

外来担当医表 (9月) ..... P 4

## 2024年度肝がん撲滅運動

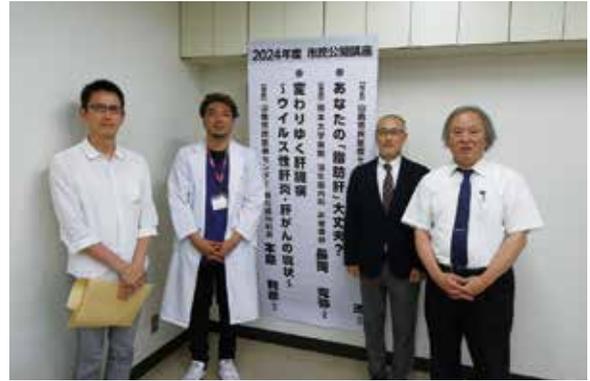
猛暑の中、みなさん元気にお過ごしですか？

7月28日(日)、熊本県と熊本大学病院が共催で毎年真夏に行っているイベント「肝がん撲滅運動・市民公開講座」が当センターで盛大に開催されました。

このイベントは、山鹿市を含む県内6カ所で同日・同時刻に講演しており、今年のテーマは“元気な肝臓で目指せ健康寿命！”で、司会に当センターの別府透先生、講師に熊本大学・消化器内科の長岡克弥先生と私、本原で講演させていただきました。

脂肪肝はこれまで、大きくアルコール性と非アルコール性に分類されていましたが、非アルコール性脂肪肝は、以前から高血圧症や糖尿病などと結びつきが大きいことがわかっており、今年から【代謝異常に伴う脂肪性肝疾患】と名称が変わり細かい分類になりました。

ウイルス性肝炎は、主にB型肝炎、C型肝炎が治療の適応です。C型肝炎は今ではほぼ100%治る薬剤が使えます。しかしC型肝炎ウイルスが消えても肝臓癌になる可能性は0%にはならないことを覚えておいてください。B型肝炎にも薬剤がありますが、C型肝炎の治療と大きく違うのは、一生内服が必要なことです。しかし、B型肝炎も新たな薬剤が開発段階にあり、数年以内には内服をやめてもB型肝炎ウイルスが悪さをしない治療薬が使えるようになるかもしれません。



今年は会場にて、B型肝炎、C型肝炎ウイルスの検査を無料で実施しました。肝臓は非常に強い臓器のため、症状が出る時には病気が進んでいることが多いですが、定期的に検診や病院受診をされている方は軽度の肝機能障害で発見することができます。自分の肝臓は大丈夫かな？と思われたら一度検査を受けることで安心できますし、悪い結果でも早期治療に結び付きます。

肝臓について話を聞いたことが無い方、ご家族や友人で肝臓が悪いのではないかと心配される方がおられましたら、来年お気軽にご参加いただければ幸いです。

まだまだ暑い日が続きますが、元気に夏を乗り切りましょう！！

(文責：消化器内科長 本原 利彦)

## 生命誕生～ひとりひとりが宝者～Ⅱ

当センターでは地域での性教育活動を行っています。生物学的なことと、子供に対する家族の思いや、子供がいるから頑張れる家族の思いを伝えたいと常に思っています。

「あたりまえ」の反対語は「有り難う」であること、失って初めて気づく感謝の日常があること、「手と手の皺と皺を合わせて幸せ」と受け取るか、「節と節を合わせて不幸せ」と受け取るか、見方を変えると違った過去や未来が見えてくるということも併せてお伝えしています。

今回はそんな性教育後の生徒達の感想を紹介したいと思います。

「親に愛されていないと思うことがありますが、今日、自分がいるということは、愛され支えられているからと分かりました」、「自分が何の



ために生きているのか分からなくなったり、自分なんかいなくても皆はなんとも思わないと思っていました」、「ちゃんと親に大切にされているんだなと思いました」、「自分を必要としてくれる人はたくさんいることを知り、命を大切にしよう、自分が生まれてきたことに感謝しようと思いました」、「自分の命を大切にしていこうと思いました」、「性についての話は恥ずかしさより感謝の言葉が出ました」、「支えてくれた家族皆に感謝すべきだと改めて思いました」

生徒達の感想を読んで皆さんは何を感じましたか。助産師だからこそ見えてくる家族にとっての宝者。親や家族の愛情に気づいた子供たちは自分を大切に、友達を大切に、命を大切にできると思います。性の字には心が入っています。私は性教育＝心・命の教育と思って今後も活動に取り組んでいきたいです。

(文責：5階病棟 副看護師長・助産師 杉本 登美代)

## 医療最前線 (159)



## 持続局所抗生剤灌流CLAP

副院長 整形外科  
工藤 智志

骨折関連の術後感染は現在でも、閉鎖性骨折で約1%、重度開放骨折で15%以上と報告されています。骨軟部組織感染治療の新たな選択肢となりつつある持続局所抗生剤灌流（CLAP：continuous local antibiotics perfusion）を当科でも経験しましたのでご紹介いたします。

骨軟部組織感染治療では十分な郭清と適切な抗生剤全身投与が基本ですが、補助療法としての局所投与が古くから行われてきました。川瀉式に代表される持続洗浄、抗生剤混入骨セメントが用いられていましたが、2000年代に入り骨セメント以外の担体を用いた方法や、担体を有しない局所投与の研究が進んできました。

新しい局所投与方法では異物を残存させないこと、担体を用いた際の溶出性の問題がなくなることはもちろん、治療の妨げとなるバイオフィルムの撲滅（MICの100～1000倍の抗菌薬濃度を微量注入で達成、菌種を問わない）が可能で、感染部位の骨切除量を減らすことができる陰圧閉鎖療法（NPWT）を用い特定の部位の灌流のみにならないようなシス

テムを構築できることに特徴があります。

CLAPでは、骨髓針（iMAP pin；先端がねじ切りされ、途中で抗生剤投与のための孔がある専用針もあり）を感染骨に挿入します。抗生剤投与にはシリンジポンプを使用します（GM60～120mg/生食50ml；2ml/h）。骨髓内へ抗生剤を注入するのみでは多くが髄腔から静脈内へ移行してしまうため、骨髓腔へ入れた液を陰圧で誘導するために皮下や筋層に留置したチューブ、NPWTを組み合わせることで病巣へ分布させる回路を作成します。

自験例では足関節外果骨折部の術後感染に使用しました。抗生剤混入骨セメントを留置するスペースがなく、CLAPを用いることでプレートを残して局所感染を鎮静化させることができました。今回は骨固定性を持つiMAP pinを用いましたが、髄腔の狭い腓骨に使用したことから設置に時間がかかり、また骨髓針が折れないように保護に注意が必要であったこと、灌流のコントロールには持続洗浄と似た管理の苦勞が必要なることを経験することができました。

術後感染のみでなく、骨髓炎、人工関節感染、重篤な軟部組織感染にも応用が可能ですので今後症例を重ねて行きたいと考えています。

\*CLAPの実施については、しばらくは倫理委員会の許可を得て行う必要があります。

## 第80回公開講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座 1 単位）

取得カリキュラムコード番号・コード名

9. 医療情報

下記により第80回公開講演会を開催いたします。  
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典  
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和6年9月13日（金）19：00～

形式：ハイブリッド方式（オンライン参加or会場参加）

会場：オンライン参加 / Zoom ミーティング

会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター

演題：「消化器がんの手術治療」

司会：山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏 先生

演者：山鹿市民医療センター 外科 増田 稔郎 先生

参加費：無料

## 【参加要領】

下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。

（参加URL）：<https://zoom.us/j/93225937609>

（参加QRコード）⇒

ミーティング ID：932 2593 7609

パスコード：756974



※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。

※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 水田、西田

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

# 外来担当医表

9月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※赤池 公孝	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本 英明
消化器内科	中垣 貴志	竹野 洋司	本原 利彦	竹野 洋司 中垣 貴志	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 中山 智子	中山 智子 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 井手 淳之介	工藤 智志 中原 達秀 井手 淳之介	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河隆敏 / 増田稔郎 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 増田 稔郎
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	小澄 将士	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	—	非常勤医師	非常勤医師	—	—
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00~16:30) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00  
 ◎当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。  
 ※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

## 特殊・専門外来【予約制】

9月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	※宮本 英明	毎週 金曜 (がん薬物療法専門医)	
禁煙外来	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	小澄 将士	毎週 水曜 (受付時間13:30~16:00)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜 (午後)	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。  
 ◎急患の場合は、この限りではありません。  
 ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。  
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

 **山鹿市民医療センター**  
 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420  
<http://yamaga-medical-center.jp>